

鉄道・軌道業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	停電復旧後に2号線に停車している列車の出庫点検に立ち会いするためホームを走行中、足がもつれて転倒し、咄嗟に体を支えようとホームに左手をついたとき、左手を捻った。	44	100~299
2	10~11	乗務の為、椅子から立ち上がり乗務鞆（8.75kg）を持ち上げた際に腰に痛みを感じた。その後4本の列車に乗務したが徐々に痛みが酷くなりその後動けなくなった為、乗務を終了した。	26	100~299
3	8~9	停車の際、車掌が速度が低下しないことを認め、非常引きスイッチを扱い所定位置を約3m行き過ぎて停車した。運転工に連絡するも応答しなかったため指令に連絡した。指令の指示で前頭運転台に向かったところ、運転工が血を流して倒れているのを確認し、その旨を指令に報告して、お客様を後続列車に誘導した。運転工は頭部に打撲を負い乗務継続不能のため救急搬送された。	26	100~299
10	13~14	乗務中の車掌（被災者）が駅に到着後に、列車のドアを開けて、ホームの状況確認に乗務員室からホームに降りた瞬間に喫煙室に向かおうとホームを走ってきたお客様（相手方）と衝突した。その反動で車掌は線路上に飛ばされて仰向けになった状態で転落した。	57	50~99
11	14~15	当社、駅舎内にて階段のある20mの距離を重さ30kgの米袋を持って荷揚げの作業をしていた。15袋ほど運んだ時に腰に痛みが走った。受傷した当日は我慢していたが、翌日痛みが増したことから病院を受診したところ腰椎捻挫の診断を受けた。	48	10~29
11	19~20	荷物をトラック荷台に積もうとした際に敷いてあるスノコに足が突っ掛かり転倒し、左胸を強打した。当日はそのまま帰宅したが痛みが引かなかった為、病院へ	39	100~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html